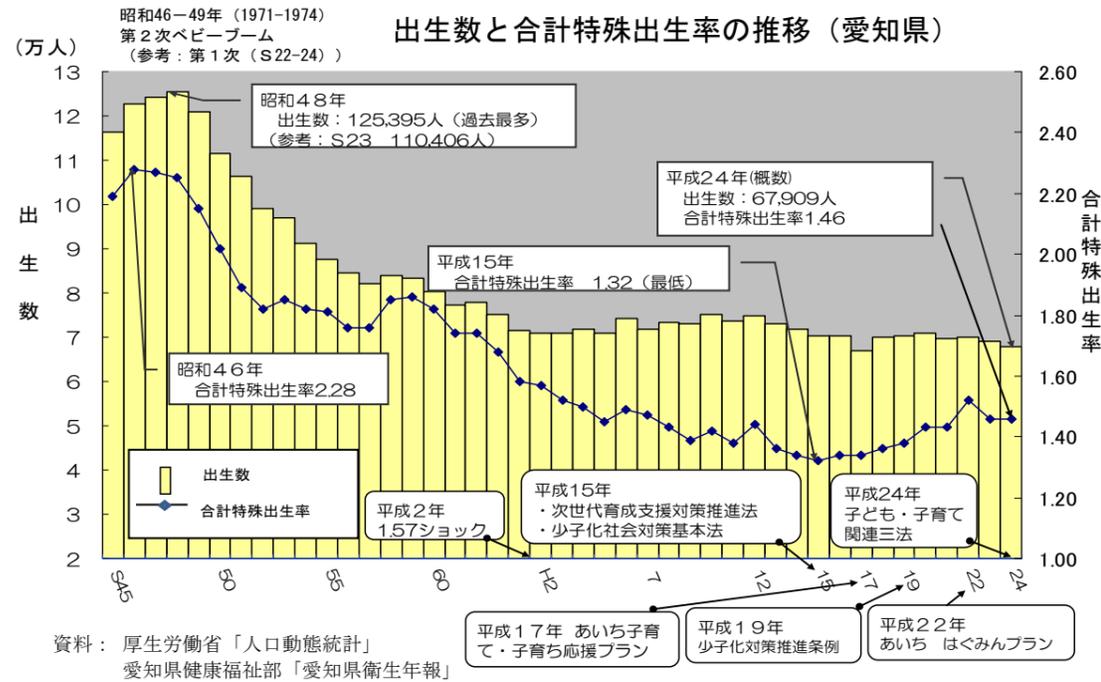


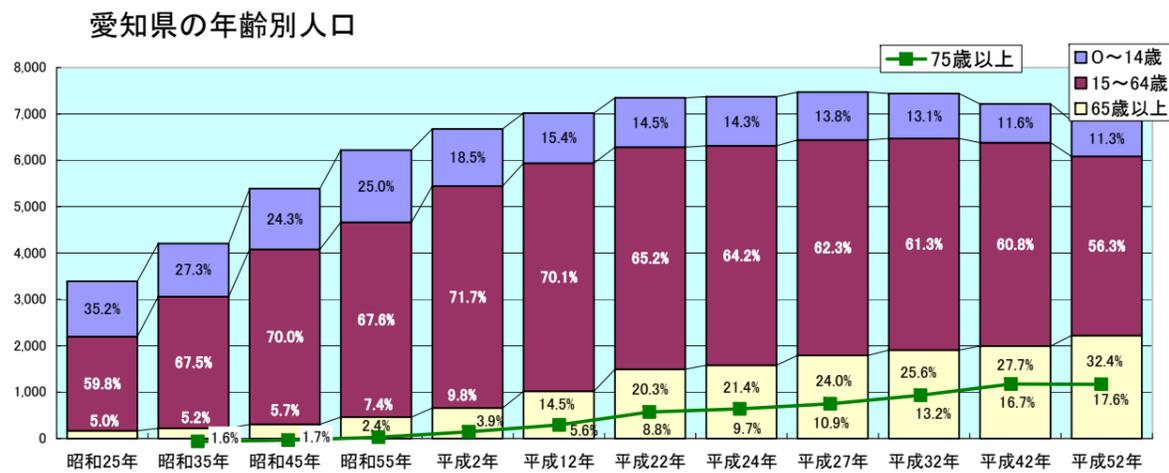
「あいち はぐみんプラン」(愛知県少子化対策推進基本計画) について

1 少子化の状況

- 平成24年の合計特殊出生率(概数)は1.46(全国1.41)で、安定的に人口を維持できるといわれている2.07を大きく下回っており、依然として少子化傾向が続いている。



- 年少人口(0歳~14歳)の割合は、平成24年の14.3%(全国13.0%)から、平成42(2030)年には11.6%(全国10.3%)、更に平成52(2040)年には11.3%(全国10.0%)になると予測されている。



- これまでにない超少子高齢社会に突入しており、社会制度の担い手不足や、産業集積の厚い本県の経済力の低下をもたらすことが懸念されている。

2 本県の少子化対策

- 喫緊の課題である少子化問題に対する県としての強い決意を表明するとともに、地域全体で取り組み目標を共有していくため、平成19年3月に「愛知県少子化対策推進条例」を制定した。
- 平成22年3月に、条例に基づく少子化対策の基本計画として、「あいち はぐみんプラン」を策定した。

「あいち はぐみんプラン ~子育てにあたたかい愛知の実現をめざして~」の概要

計画の性格: 愛知県少子化対策推進条例に基づく基本計画

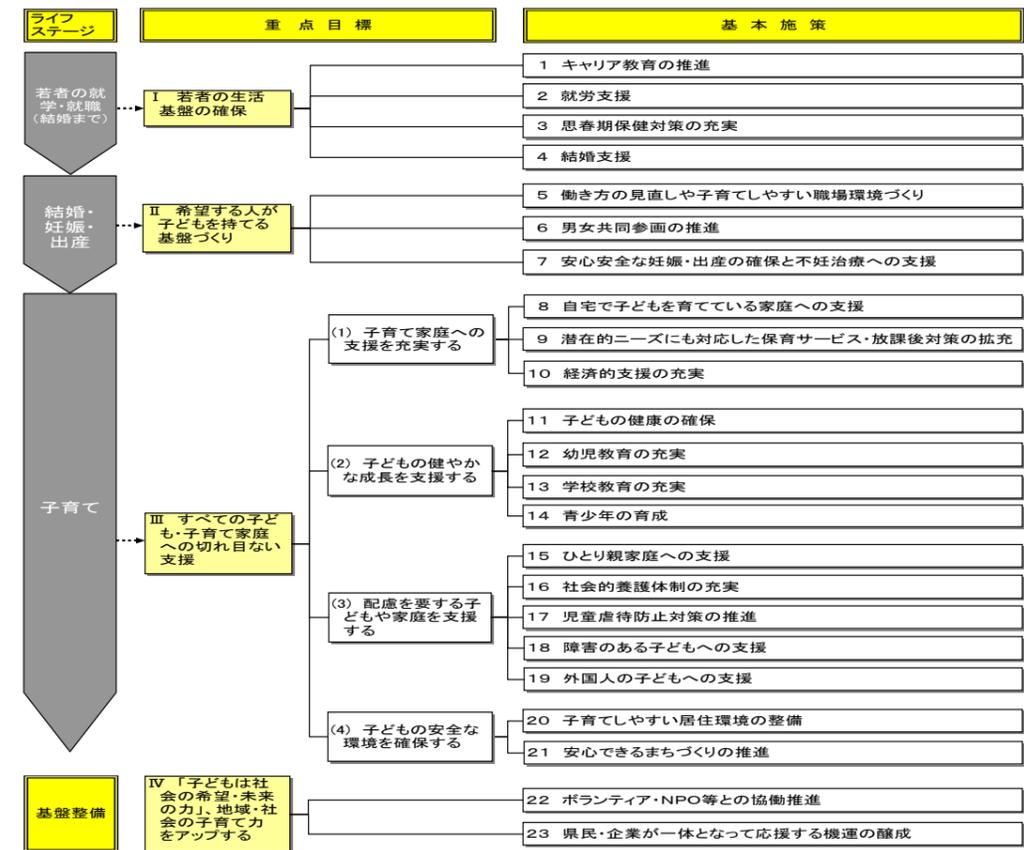
(次世代育成支援対策推進法に基づく後期行動計画としても位置づけ)

計画期間: 平成22~26年度の5年間

基本目標: 県民が家庭を築き、安心して子どもを産み育てることができる社会の実現

基本的な考え方: 子育て期だけでなく、就職・結婚を含むライフステージに応じた取組を、市町村やNPO、企業等多様な主体と協働・連携しながら推進

計画の体系



※重点チェック項目: 計画を着実に推進し的確な進行管理を行うため、各基本施策ごとに

1項目以上、具体的な数値目標を設けた項目(全32項目)を設定

推進体制: 「あいち はぐみんプラン」フォローアップ会議(プランの進捗管理)

⇒ 子ども・子育て会議で実施